



飛騨っ子

令和5年12月1日発行 NO8
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職：水口 悟
 TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
 E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



家庭教育を進める動き



◇ もうすぐ1年生 就学までにめざす姿 学校行事参加型 + 在宅取組型



<10/2 枋尾小学校:就学時検診にて>



<10/19 新宮小学校:就学時検診にて>



お子さんの健やかな成長とその土台となる「生活の確立」のために、ご家庭でも、園でも、小学校でも、中学校でも大切にしていきたいことです。(高山市幼保小連絡協議会)

学校(園)には、保護者が集まる機会が多くあります。その機会を活かして家庭教育学級を開催することはとても有効です。特に就学時検診や入学説明会は、とてもよい機会です。卒園～入学を節目とした同じ学年の子をもつ保護者の集まりを通して、家庭教育についての情報や学びを共有したり保護者同士のつながりを作ったりすることは大切です。親の輪(和)は、子どもたちの輪(和)となり、広がっていきます。

高山市では卒園～入学という成長の節目を活かし、「もうすぐ1年生! 就学までにめざす姿」のリーフレットと「朝のスタートプラン ~にこにこカード」が、市内全ての年長児をもつ家庭に配布され、各家庭の取組を見届ける仕組みがあります。就学時検診の際に、親子がこの「にこにこカード」を受付の先生に提出します。かれこれ11年も継続されています。この取組は、県が推進している「話そう!語ろう!わが家の約束」運動(在宅取組型)と目的が同じです。親子が「就学までにめざす姿」を意識しながら実践カードを活用し、ともに楽しく取り組む仕組みが続いています。

こちら合わせてご覧ください。

県 HP <R3 家庭教育学級の取組の紹介>

<講話の感想: わが子育てを見つめる時間をつくりましょう(家庭教育推進専門職)・眠育について(主幹教諭)>
 ・リフレーミングについて教えていただけたのが良かったです。子どもの様子を違う言葉に置き換える、ポジティブにとらえることの大切さを学ぶことができました。
 ・自分たちの今のために睡眠をしっかり確保する大切さを教えていただき、ありがとうございました。今までは漠然と眠ることは大切としか知らなかったのが、具体的に教えていただき、とてもわかりやすかったです。

◇ 高山市PTA連合会 「家庭教育委員会 交流会」 講演会型 基本的な生活習慣 善悪の判断

令和5年度 高山市PTA連合会
「家庭教育委員会 交流会」

【スケジュール】

19:00	開会のことば 会長あいさつ お祝い金贈呈（南小学校育友会様） 令和5年度 日本PTA全国協議会会長表彰 高山市教育長のお話 講師紹介
19:15 ~ 19:40	「最近の子どもの犯罪傾向と情報モラル」講話 講師：高山警察署 生活安全課長 質疑応答
19:40 ~ 20:15	グループで意見交流 講話に関する内容・動画配信の内容 など *始めにグループリーダーを決めていただき、 リーダーを中心に進行をお願いします。
20:15 ~ 20:25	感想 発表
20:25	総括（顧問校長） 閉会のことば

- 期日 令和5年10月19日(木)
- 主催 高山市PTA連合会
- 講話 「最近の子どもの犯罪傾向と情報モラル」
講師：高山市警察署生活安全課長
- 対象 市内各校の家庭教育委員会関係者



講話より

- ・一人で社会に出ていく子どもたちの未来を考えると、自分自身で自分を守る(被害者にならない)知識と力を身につけることが大切です。
- ・インターネット社会では、「自分の隣に犯罪者がいるかも知れない」という意識をもつことが大切です。

初めての「家庭教育委員会 交流会」の開催

高山市PTA連合会が主催する「家庭教育委員会 交流会」が開催されました。始めのあいさつの中で会長さんが「子ども・親の迷子を見逃さないように活動に取り組んでいきたい!」と話されました。続いて、家庭教育委員会委員長さんが「今年度、県PTA連合会の役員となり、いろいろな方々と出会い交流できることが楽しい。今日の交流会も初めての開催ですが、楽しくざっくばらんに交流しましょう!」と話されました。



<委員長:「役員となり出会いが楽しい」>

役員同士の交流は大切!

5つのグループに分かれた交流会では、初めて会った方々とは思えないほど話に花が咲きました。委員の皆さんは、規模や実態の異なるそれぞれのPTA組織や家庭教育委員会の取組に大変興味をもたれています。交流する皆さんの姿から、委員の一人として会長さんが話された「子どもや親が迷わないようにしたい」という気持ちが伝わってきます。役員の一員として他の学校の取組や課題等々を聞くことで、自校の取組を見つめることができます。役員としての不安や悩みが共有できたり、よいアイデアが生まれたりするチャンスになります。



<熱心に交流する役員のみなさん>



コロナ禍によりなかなかできなかった取組に、一歩踏み出されたことが素晴らしいです!



<「さあ、がんばろう!」>



<「こうやって筋をつけると、メロンパン!」>

- 期日 令和5年10月28日(土)
- 主催 高山市女性青少年会館
- 対象 親子8組(希望者:定員を超えた場合は抽選)
- 講師 地域の方(ジャパンベーキングスクールにて資格取得者)



主催者の方曰く「コロナ禍がようやく収まりつつある中、やっと食に関する講座を再開することができるようになり、とても嬉しいです。この講座はとても人気のある講座で、回数を増やしていますがいつも抽選となります!」時間になると、にこにこ顔の親子が次々と会館にやって来ます。「おはようございます!」、気持ちのよい挨拶!



めざすは、「ココアメロンパン」と「パンプキンマフィン」です。親子8組みなさんのための材料が中央のテーブルにしっかりと準備されています。講師の方によるテンポよい説明に沿って、各調理が進められていきます。「この計量カップで〇〇ml計ってくれる?」「ゆっくりでいいから、これとそれを混ぜようか」(親)・・「このくらい?」「こんな感じでいいの?」(子)。料理は、時間との勝負でもあります。親子の協力(コミュニケーション)

なしでは進められません。また、この講座で偶然出会った保護者同士が教え合ったり褒め合ったりする姿も見られ、学級(仲間)という雰囲気をつくり出しています。



時間の経過とともに、子どもたちの動きにも余裕がでてきます。オーブンからは、生地が焼けるいい匂いが調理室に広がります。子どもたちは、焼け上がった生地にチョコレートチップやカボチャの種を楽しそうにトッピングしていきます。この講座が人気である理由は、何とんでも「自分が手づくりしたものを持ち帰ることができる」と、主催者の方が言われました。



「食」をテーマにした家庭教育(学級)は楽しい! 家族や参加者みんなで作る楽しさや美味しさを共有することができます。家族みなさんの笑顔と会話が広がる様子が目に浮かびます。

★ パンプキンマフィン ★
(パンプキンとココアを混ぜたマフィン)

材料(調理10分、フィニッシュ4分)

1 強力粉	53
2 パンケイパウダー	小さじ2/3
3 シナモンパウダー	適量
4 卵	
5 塩砂糖	37
6 サラダ油	60
7 かぼちゃペースト	26
8 牛乳	67
9 かぼちゃの種	20

下準備
* 室温に温める。
* Aを混ぜる。ふるふる。
* かぼちゃは、皮を剥き、種を除去してよく混ぜる。
* オリーブオイルを180℃に温めておく。

(作り方)
① ステンレス製のボウルに卵と塩砂糖を入れ泡立て器で混ぜ、卵白に混ぜ、(油)を加える。(油)を加える。
② 火から冷まし、サラサラ油を数回に分けて加えながら、泡立て器でよく混ぜる。かぼちゃペーストを加え、良く混ぜる。牛乳を加えてよく混ぜる。
③ Aを加え、泡立て器を立て、中心がグルグルとよく混ぜる。
④ コムパワに生地を伸ばし、中心がグルグルとよく混ぜる。型に生地を流し入れ、かぼちゃの種を散らす。
⑤ 180℃のオーブンで18分ほど焼く。
焼き上がり、ケーキクーラーの上に置いて冷ます。

<本日のレシピ:ココアメロンパンとパンプキンマフィン>

